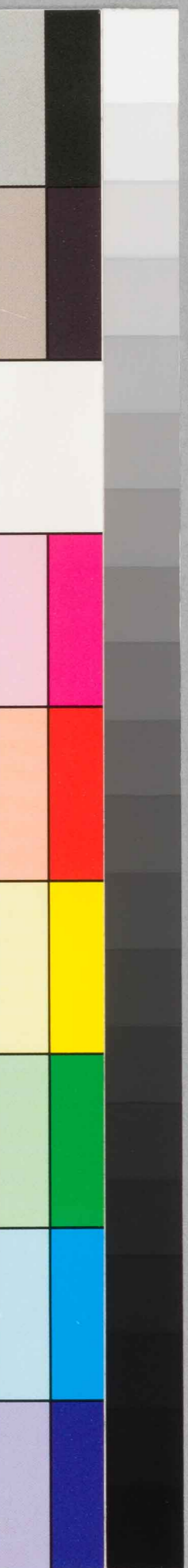


類証弁異全九集

寛永

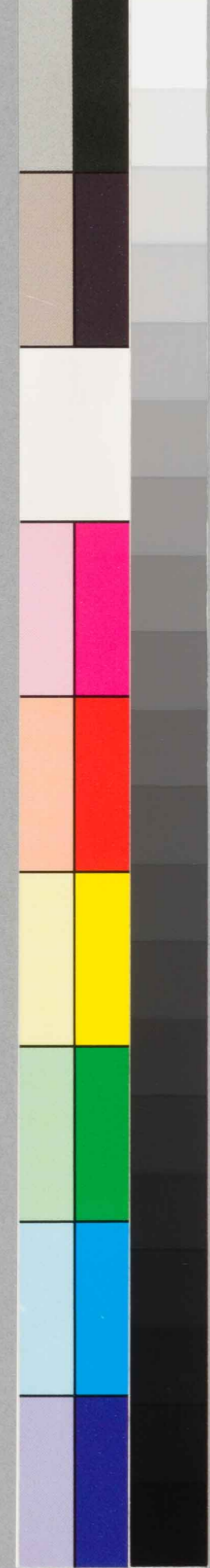
整版(敦賀屋版)





類證辨異全九集

卷之一



類證辨異全九集目錄

診脈榮衛之分別

定三部之位

七表之論

八裏之論

九道之論

七種之死脈

四時之平脈

四時之虛脈

四時之實脈

又虛實之通

同等之脈

反常之脈

關格之脈

男女之異

主客伏匿辨

病內外之異

懷妊之脈例

新產之吉凶

小兒虎口之辨

原夢

百病在氣在血之分別

以潮作之時知五藏之病

諸病之惡候

醫者辨入病家之法

四知之論

五藏之絕證

五實五虛之論

倉公三死之說

治諸病專可賴胃氣說

兩腎二補分別

養生論

五勞之大體

治未病之說

六失之論

機之論

○卷之二

石藥一種

草藥五十四味

木藥二十四種

獸藥一種

調合之指南

六陳

八新

十八反

禁銅鐵之藥

禁火之藥味

每月之禁物

合食禁

不與姓者藥種 五藏補瀉并苦欲 瀉藏府之藥種 藥毒多少分別

五味之用 五味之過傷 食前食後服藥之分別 十二劑之論

藥氣藥味之分別 藥劑七情之分別 七方之論 權衡銖兩之論

生熟之用例 藥根三停之分別 湯散丸之論 尺寸之定

半秤之圖 大分小分之異 升合之分別 服藥間之食法

束把之分別 煎藥生熟之分別 中風之論治 痢病之論治

○卷之三 傷寒之論治 宿食內傷治方 水腫之論治 泄瀉之論治

瘧之論治 效嗽之論治 氣之論治 虛損論治

積聚之論治 消渴之論治 瘰癧之論治 脚氣之論治

嘔吐噎膈翻胃之論治 心痛之論治 頭痛之論治 黃疸之論治

脹滿之論治 腹瀉之論治 淋病之論治 疝氣之論治

霍亂之論治 痰飲之論治 瘰癧之論治 秘結之論治

喘急之論治 痺之論治 痿之論治 下血之論治

諸熱之論治 痺之論治 痿之論治 下血之論治

○卷之四 瘰癧之論治 瘰癧之論治 瘰癧之論治

腰痛之論治 脇痛之論治 溺濁之論治 遺溺之論治

○卷之五 痔之論治 瘰癧之論治 遺精之論治 效逆之論治

吐血之論治 吐血之論治 眩暈之論治 癩癩之論治

鼻衄之論治 健忘之論治 陰癩之論治 脫肛之論治

諸毒之論治 眼目之論治 耳病之論治 鼻病之論治

腋臭之論治 牙齒之論治 咽喉之論治 諸蟲之論治

唇口舌之論治 牙齒之論治 咽喉之論治 諸蟲之論治

癰瘡之論治 折傷之論治 瀝水之論治 凍死之論治

癩死治 骨鯁治 竹木之刺治 自縊治

癩傷之治 馬嚼治 犬咬治 湯火之治

漆瘡治 暴症治 齧證之論治 中惡論治

○卷之六 婦人門之論 調經論

帶下論 求嗣之論 惡阻之論 胎動之論

姙者膝例 察胎之法論 姙者傷寒 胎動之論

姙者之浮腫 姙者下血 姙者傷寒 縮胎之治法

滑胎之法

十三神吉凶方位

月空方位之例

推婦人行年之法

臨產之調治

難產吉凶

四產之論

新產之脈

胎衣不脫

產後之謔妄

產後浮腫

帶下之治

婦人之治方

調經治

崩漏之治

陰門諸證之治

寡癒之治

雜證之治

癥瘕之治

胎死之治

惡阻之治

胎動之治

子煩之治

胎衣不下之治

血暈治

產後中風治

難產治

惡露不下治

產後腹痛治

產後腫脹之治

惡露不絕治

產後遺尿治

下乳汁之方

產後痢病治

小兒門之論

五藏虛實之病證

面證五藏之辨

眼色之分別

生時之調法

臍風

乳母之謹

變蒸之論

壽夭之相

雜說

痘疹

諸疳

積蟲之辨

腹脹之因

發搐

驚風

傷風

傷寒與痘疹之弁

吐瀉

效嗽

渴治

乳食之養時

口瘡

疳欠

雜證

不治證

小兒之治方

痘疹治

諸疳治

蟲治

脹治

驚治

風寒之治

吐瀉

瀉痢之治

效嗽治

渴之治

瘕積之治

雜方

○卷之七

灸治之樞要

灸穴尺寸定法

灸時可謹保之法

每月禁灸之日

定髮際之法

灸發灸瘡之法

淋洗灸瘡之法

四季之人神

背後傍側之灸穴

灸火之吉凶

正面之灸穴

背後傍側之灸穴

膏肓俞

患門穴四花穴

小兒之灸穴

五行之論

十子之論

十二支之論

運氣之徑捷

四時氣候之論

交氣之論

生成數之論

六化之論

天地六氣之論

主氣之論

容氣之論

五音運論

歲會之論

同天符同歲會論

南政北政之論

天符之論

紀運之論

勝復之論

治法之論

太少氣運相臨之論

六病論

六十年客氣傍通之圖

五行不及之時勝者來乘之論
考十子而知其運之圖
識初氣交刻之論

六十年紀運之圖
考十二支知當年司天之圖

全九集目錄畢

類證辨異全九集卷之一

診脈榮衛之分別

夫脈之字ヲチズト云其血スチヲカヨ

物ハ只氣ト血トニ也サリナガラ氣ハ血スチ外ヲウカニテカロク廻血ハスチ
ノソコニヲトシテナガル也其氣ヲ陽トナレテキノミチト名ヅラ衛コレ也其血
ヲ陰トナメチミチト名ヅラ榮是也氣ハ外ヲ廻人ヲアタメモル血ハ内ヲ中
ヲナガシテ入ヲルホレハナカニスル物ナリ此氣血ハ十六丈二尺ノ脈道ヲ晝夜
百刻ノ間ニ五十分スル也セバ診ノ一字ヲ取モロムトヨク候ノ字ヲウカガ
トヨナリ故ニ人ノミヤクヲ取テ診候ト云也其ユハ氣ノ往來血ノ流通ノ太
過不及虛實遲速ヲトリコミワカウナリ故ニ診候ノ術ニ七表八裏
九道ノ分別也 定三部之位 掌後ノ高骨ヲ關位ト定其身寸ニ
テ寸有リ魚際ノ穴ヨリ關位并カイニテ九分有リ是寸口トサタハ
關位ノ下寸ハヨリ寸ノ間ヲ尺中ト定ルナリ此寸關尺ニテ五藏六府
ノ虛實一身ノ安危三焦ノ通塞ヲ取モロミ分別イタスナリ男ノ脈スハ
左ノ手ヨリ取ハジメ女ノ脈スハ右ノ手ヨリ取初ニ寸尺脈ヲイカニモ指
ヲカロクシテウカイ尺中ノ脈スハ指ヲオモクシテウカイ關上ノ脈スハカ

口ヲモクナクヨキコロラシテワカズレ然ハ寸關尺三部ノ間其身ノ寸ニ
テ二寸九分アリ

七表論

○浮芤滑實弦緊洪七ヲ七表陽脉ト名ツ

浮脉ハオモクシテツツヌビタス指ヲカロクアテウカヒアリアル也

二芤脉ハ指ムラニウカフニ經絡ノ兩頭ニアタレトモ中間ニツツヌビ血

リトコホツテカレニ經絡ニタヌ寸口ニアラハ骨中ノ多ク血トリ關部ニアス

腹中ニ瘡イテ來ナリ又中ニアラハ小便ニラミ血出ルトルベシ

三滑脉ハ指ニツツヌルニ三部ノ間ニタマラウカスコトクイカニモナラカニ

テトコラザルナリオモクラセバカクテスニズリツカズ血ヲクナカレ

ウイテ氣ハスナクスグルトルベシ此脉ハ手足クモシ小便赤クシフル

事ヲツカサドル

四實脉ハラシテ尋ニモ絶セズカロク

アグハアリアリ陽氣カクシテ内ニアリ脾ノ藏虚ニ不食ニ手足ツ

カレテモノヲキ事ヲツカサドル

五弦脉ハ指ニテラスニタラスアグレ

ハ餘リアリ弓ノツルヲスニ似タリツツヨリハ少ヤキ脉也肝木太過

コノ脾胃ヲ尅レ勞風ニヨリチカラフトロハ手足ヒイラキ皮毛カレシケタル

事ヲツカサドル

六緊脉ハ指ニテ尋ニ三關通レ渡ルヲ

セハアリアリ與ハススニテハヤクカチ洪弦トシカクタル風氣陽邪ノ

ボリオカシテ物ニクルヒラトロキヲソレヤスキ事ヲツカサドル

七洪脉ハ指ノハラニタルコトイカニモ大ニアグレハアリアリナツキイタニ手足ウ

カヒ熱レ大腸通セズ大便結シロノウチカキ身イタム事ヲツカサドル

八裏論

○微沉緩瀦遲伏濡弱ノハツラハ裏

一微脉ハ往來イカニモカスカニアルコト

二沉脉ハ指ニテ尋ニ有ル様ニシテアグ

レハツツナレ臟腑ヒエニ焦ツカリ兩脇ノ間ニ氣フクヒ手足時ニヒユル也

寸口ノ沉ハ骨ニ痰有關部ノ沉ハ氣ニテカク心中痛ハ尺中ノ沉ハ腰足

ヲモク小便ニヨリシケレ

三緩脉ハ往來少ラツクユルヤカナル脉也

四動ノ平脉ヨリハラシク三動遲脉ヨリハ少ハヤレ手足イキレモダヘイキ

ツガイハヤレ既月間ニ氣アツテ耳鳴リ寸口ノ緩ハ背項ヒイラギ關上ノ緩ハ

腹中ニ氣ハスホツツテノヒガタク尺中ノ緩ハ冷氣結シテ夢ニ鬼ニシタカウ
 四瀦脈ハ指ニテヲ尋ニアルニ似テアケル全クナレイカニモウスカカレカ
 テ竹ノカワヲケツルニ似タリシブリトコホツテナメラカナラヌ脈也取月ノ
 精汁ツキタル脈也身ヲウルホス血カワキスクナクナル脈ナリ故ニ田カハ傷
 精婦人ハ敗血也懷妊ノ人ナラハ胎中痛ハコトアラシ

五遲脈ハ指ヲオモクシテエタリニ息ノ間ニ三動ガカリ來ルナリ往來キワメ
 テラソレ腎虛ノヤスカラス寸關尺ノ間ニ遲脈アラバ三焦ノ間ノ寒冷シワキ
 コニレハレ 六伏脈ハ指ニテ尋ニアルニ似テ呼吸定息ニツタキコトナク
 再ヒ子ノコロサクリタツヌレハ三關ヲハナサルナリ筋ノ下ヲカクヒユクナリ毒氣
 三關ニトチフサカリ手足シモクヒユルナリ寸脈ノ伏スルハ胃中ノ聚物也關
 脈ノ伏ハ腸癖アツテ泄瀉スルナリ尺脈ノ伏ハ食物消セスホゾクアタリニ疝
 瘕アリトレハレ 七濡脈ハシレテ尋レハアル様ニシテ指
 ヲ擧レハナレチカラヨワク五心イキレ熱レナツキザクメキ下焦ノ元氣ヒエキワ
 一丹田カレカワキ骨蒸熱ヲツカサトル脈也
 八弱脈ハ指ニテ尋ニハレリワクサワガコトレチヲカカクヒテハサクリヲホエチヲ
 シモクシテハスナワチナレイカニモヤハヤトスズ産後ニ容風入來テオモテ
 ウヅル氣ヨキ脈ナリ寸弱ハ陽氣虚シテ汗ヲツカライツ關部ノ弱ハ
 胃ノ氣不足ノ中焦ニハレ尺中ノ弱ハ陰氣絶シテ骨肉ヒレヒイラキハ
 タイキル脈也 九道論
 ○長短促結代率動細ノ九ツヲ九
 道下各ツツ
 一長脈ハ陽也指ニテ尋ニ三關ノ間竿ヲモ
 ツカチチゴトレ指ヲ擧レ餘リアリ又寸關尺ノ本位ニ過タルモ長ト云
 一身ハチチ熱レシキフレヤスカラズ陽毒ノ藏中ニアル脈也三焦ノ熱トレ
 シ汗ヲ發シヤスキコトヲウベシ 二短脈ハ陰ナリ指ニテタツヌレ寸關
 尺ノ本位ニオズガルヲ短脈トイフ也手足ノロサタ腹中ニ氣ヲ生シ三焦
 ノ氣ヲサカリ陰中ニ伏陽アリ臟中ニ宿食アル脈也三焦ヲ通瀉シ必
 ズヤスカルヘシ 三虛脈ハ陰也指ニテラレタツヌレモラズカロクアグルニ
 モタラズイカニモウツケタル脈也物ニテド早ニサワギメ心ホヒヤスク血虚
 シテイキレ熱レタルコトヲツカサトル三焦ヲ補益シテスナウチ安カルヘシ
 四促脈ハ陽ナリ指ニテ尋ニキワメテハヤク關部ヨリスミ出テ合テ寸口ニ
 居スル脈也ツチヨリモ事ノ外ヤ多ク動クウチギレ血斑點ヲナスノ脈

九集一

也此促脈ハ次第ニクワリ増スバスナラチ死ス次第ニクワリソキ裁スバカ
ラスイケル也
五結脈ハ陰也常ヨリモ少シク来リサル聚
テカハ時ニ動審メルナリ血ガ通ゼズ氣ガ散ゼズ積氣脾ノ藏カ
タワラニ生テ手足痛ミモタ元事ツツカサトル

六代脈ハ陰ナリ指ニテ尋ニ時々ニウゴキウカシテツイテラドルカト思ハ
カエツテナレ脾氣風邪ニヤブラレテ魂魄クニ又云五臟ノ内イツニモ
藏絶レ極テ呼吸ツツカサドナルカ故ニ脈其絶スル藏ニイタズニ代脈
ヲアラワス也絶某ル藏ノミカハク動スルナリ故ニ或レバラク動レバ
クイトマルナリ

七牢脈ハ陰也指ニテ尋ニ則チ之ヲ押テニ六返テ
有来ラズユカサルカトレ骨ノ間痛ニ氣イソガハク多骨ノ間ニ有
八動脈ハ陰也ラレテ尋ニ關部ニノミ有テ尺寸ナキカトレ舉テウカカエ

ガレ其關部ニアル脈モユカズ不來レテ其所ヲナレズ手足ツカレテヨワ
血病ヲワツナイ女ハ血多ククカクワツラウ脈ナリ
九細脈ハ陰ナリ指ニテサグリ尋ニホソキイトスチノ指ニサワルニ似タリ往來
イカニモホソレカチヤセカシテ足脛ヒモ毛髮カワキ骨髓ヒヘ痛ム

腎ノ精汁モルコトツツカサドル脈也 七種ノ死脈

彈石ノ脈指ニテ尋ニキツク物ヲヒツサゴトクニ聚リ來テラレニモアゲテ
モラナシヤウナリ殊ニ息數ナレ是ハ腎絶ノ脈也カナラズ死スルコトウタ
ガイナレ 解索ノ脈ハ筋肉ノ上ニアツテウゴキハヤク散メアツマ

ルナク左右ノ尺中ニカリアラレテ指ノ下ニ散メアツマズ是ハ五
藏ノ精髓皆死セトスル脈也 雀啄ノ脈ハ指ノ下ニハヤク急ニ
ツラナリ來テ殊ニ息數ナレ只スミノミシリヨクコトナレ俄ニ絶テ暫ク見

ズヤヤクシテ前ノコトクニ又キタル也是ハ只四五日イノチナリ脾ノ臟ノ絶
脈ナリ 屋漏ノ脈ハ指ニテラヌニ極テラヌ多ニ息ノ間ニ只一動ナト來

リレバラクトドマル屋漏ノレツクコトク或ハ來リ或ハ留テ連續セサルニ
似タリ是ハ胃絶ノ穀氣ノツキタル脈也立所ニ可死
蜘蛛ノ脈ハ皮モノ間ニ浮シテ再ヒツル能尋レバウセテキガタララヌヲリア

ラワルハハヲソレウセタル事ハスニヤカ也カハツ水面ニアソシテ多チマチニ
水ノソコニ入テレバラク有テタチマチ水面ニホリアラハルニ似タリ是ハ脾
胃絶ノ神魂スデ弁ル脈也立所ニ可死

魚翔ノ脈ハ皮肉ニ有テ寸口ハサダミツテウゴカス尺脈計リ静ニソロト。

ウゴクトハ魚ノ久ク水面ニアソビカレヌウゴカス尾バカリユクツ

口トウゴクカチクゴトシ是ハ腎絶ノ脈ナリ此脈アラバ六時ノ中ニ死也

釜沸ノ脈ハ皮肉ノ上ニアツテユクトシニエタルモノウエヲサクルニ似リ

是ハカチス死スル脈ナリ 右曰上七表八裏九道ノ大略也及ヒ

七種ノ死脈ヲレリスナラソフ詩カナルフハ當流相傳ノ診候一紙約術ニ有

四時ノ平脈 春ハ微弦 夏ハ微洪 秋ハ微浮

冬ハ微沉 右コ四時ノ平脈ナリ但微ニ弦ナリト云フハア

スイカニモウツクニスニ弦ノカチ有ルカト云意ナリ洪浮沉モ皆コレ

ナラズ 四時ノ虛脈 春沉脈アラワレ夏弦脈アラワレ夏

ノ土用ニ洪脈アラワレ秋緩脈アラワレ冬浮脈アラワレ素問ニ云

至而不到是謂虛コノ句ノ意ナリトトハ早クノ時節ハイタリタハ當

季ノ脈ハイタラソノスキサリタ季ノ脈アラワレナリ是ラハ當季ノ主スル臟

ト其母ノ臟トシカチテシキノスレ 四時ノ實脈 春洪脈アラワレ

夏緩脈アラワレ夏ノ土用ニ浮脈アラワレ秋沉脈アラワレ

冬弦脈アラワレ素問ニ云不到而至是謂實此句ノ意也タハ未ダ

其時節ハイタラサレトモ臟腑實スル故ニハヤトリコレト來季ノ脈アラワ

ス是ラ當季ノ旺スル臟ト其子ノ臟トヲ兼テ瀉スベシ 又虛實之一通

春脈弦ニツヨクチカラアリ夏脈洪ニツヨクチカラ有リ秋浮ニツヨクチカラ

アリ冬脈沉ニツヨクチカラ有リ右四時旺スル臟太過シテ實スルノ脈ナリ

春ノ脈ウツヤワラカニシテ曾テ弦ノカチタシ夏ノ脈ウツチカイナクン曾テ

洪ノ形チナク秋ノ脈ウツクヨク冬ノ脈ウツクヨク曾テ

沉ノ形ナレ 右四時旺スル臟不及ニ虚スル脈也 同季ノ脈

寸關尺ノ三部大小浮沉遲數同ク等シキハ寒熱解サレト有トイハ陰陽

和平スルノ脈也其ト云底必可愈 變常ノ脈

人健ニノ脈煩ハシク病人ノ脈平ニ長高キ人ノ脈短カク長クヒキ人ノ脈長

少年ノ脈老人ノトク年々タタル人ノ脈壯ニ肥タ人ノ脈浮大ニ瘦タ

人ノ脈沉實ナ 右各平常ノ候ニシテ必病スル脈ナリ 關格ノ脈

寸口ヨリ升テ魚際ニ溢ル是ラ外關内格ノ脈ト云尺中ヨリ降ツテ尺澤ニ

ボル是内關外格ノ脈ト云ナリ右此關格ハ陰陽偏勝ノ脈也盛衰陰

陽

太過ノ陽ノ不及ナル時ハ魚際ニ溢ルナリ陽ノ太過ノ陰ノ不及ナル時ハ尺外ニ溢ルナリ急疾太病ニ此脈ヲ得タルハ必危シ

男ハ寅ニ生ノ陽ナリ陽ハ火ニツツテ炎上ス故ニ寸脈ツ子ニサカニシ。尺脈ハ

ヨワシ。女ハ申ニ生ノ陰ナリ陰ハ水ニツツテ下流入故ニ尺脈ツ子ニサカニシ。寸脈ヨワシ。右是男女ノツ子ナリ。冬トハ陽男陰女ノ脈ヲ得タル

コレ不及ナリ。陰ノ女陽ノ男ノ脈ヲ得タルコレ太過也。又男ハ右腎ヲ命門トシ。女ハ左腎ヲ命門トス。契居土カ云男ハ陽ナリ。故ニ

陰ヲ得テ生ズ。右腎ヨリ初ル是イノチ初ル門ナリ。女ハ陰ナリ。故ニ陽ヲ得テ生ズ。左腎ヨリハジミルコレイノチ門ナリ。男女トモニコヨリ生レハミルニ

ヨツテ命門トイフナリ。主客伏匿之辨。寸口ニ沉瀼微短ノ陰脈アラレテ十動ノ間ニモ浮洪陽脈ノ動ニ動

ナド交リ見ルハ客陰邪太過ナル故ニ主脈カクテ時々見レテ十動ニ十動ノ中ニモ沈微陰脈ノ動ニ動ナド交リ見ルハ客陽邪太過ナル故ニ主

脈カクテ時々見ルナリ。寸口ニ常ノゴトク陽脈見レテ時々二動陰脈ノ交リ出ルハ本陽イマダ虚セザル故ニ邪陰ノボルトイハドモカクテ々々ズム也。

尺中ニ常ノゴトク陰脈見レテ時々二動陽脈ノ交リ出ルハ本陰未虚セザル故ニ邪陽降ルトイハド陰々ズムナリ。右療治ニ專イ九事也客邪甚

ハガレウソ主脈カクテ時々主氣ヲ補ヒ邪氣ヲ瀉スベシ主脈イマダ虚セズ客邪ヒソカニカクテ居ル時ハ客邪ヲ瀉シシラグテ少氣ヲ補フベシ。又左右ノ三

部トモニ二向ニ脈ウタガハラズ。雙伏トイハテ一手三部トモニウタガハル單伏ト云ナリ。又寸口ニ三見レテ二向ニ尺中ニ見レザルハ必ズ吐逆ノ氣アリ吐逆ノ

氣ナクハ死スベシ。元氣絶レタル故也。尺中ニ三見レテ向ニ寸口ニ見レザルハサノニクルレカラス。元氣々々シク有故也。病ノ内外ノ異

脈浮大ナル者ハ其病外ニ有沉細ナ著者ハ其病内ニ有カクゴトク陰陽ニ内

外ヲワキマヘ其上ニ三選數ヲ分別シテ寒熱ノ病トハサタムヘシ。懷妊ノ脈例。脈三部ニアラワレ動シテ産門ニイリハナ

ハガレキハ胎アル脈ナリ。尺外ヲ産門トイフナリ。尺脈細滑ニシテ絶セザルハ胎アル脈。左右ノ關ニ滑脈アラハ懷妊ト知シ滑ハ多血ノ脈ナリ。故ニハラタリ

陽中ニ陰脈アラワルハ女子ナレベシ。陰中ニ陽脈アラワルハ男子ナレベシ。

新産脈之吉凶

既二産之後脉緩滑吉也沉重ナルモヨシ。沉細ニシテホチニツクハ吉ナリ

小兒虎口ノ辨

一歳ヨリ三歳ニ至ル虎口ノ紋ヲ見ベシ虎口トハ入サレ指ノ二節ノ間ノムラカクナリ



黄色九筋ハ平和ノ驗也

黑色九筋ハ危シ急也

青紅紫ノ三色ハ病有ノ驗也

風關計ニ見ルハ治シ易シ

氣關ニイタルハ病深シ

命關ニイタルハ療治シガタシヨホクハ死スルナリ

スルナリ

青筋胎氣ヲ受ル事不レ全。驚キビクヌクベシ強ク青ハ肝ノ安カラス。薄ク青ハ腹痛ノ糞青カルベシ。驚キ熱スス。薄ク紅ナルハ痢イタミ不食シテ吐瀉アルベシ。

此系ナリ筋ハ敬馬熱ト知ベシ。コク紫ナルハ物ニ驚キハナヒニヨイナクベシ。ウスムラナキ

ナリハ腹底ヲ痛ミ吐瀉有ベシ

原夢

怒ヲ夢見ルハ肝ノ盛實也。喜ヲ夢見ルハ心ノ盛實也。樂ヲ夢見ルハ脾ノ盛實也。ナキ悲ムヲ夢見ルハ肺ノ盛實也。恐ルヲ夢見ルハ腎ノ盛

實也。落ト夢見ルハ上部ノ虚ナリ。飛ト夢見ルハ下部ノ虚ナリ。火ヲ夢見ルハ陽ノ太過也。水ヲ夢見ルハ陰ノ太過也。人トアラナイコト殺レシコトナイコト

コトナルト夢見ル陰陽トモニ虚スレハナリ。人ヲホクアツルコトヲ夢見ルハ腹中ニ短蟲多キ故也。人ト打諍ト夢見ルハ腹中ニ長蟲多キニ依也

右是其人ノ夢ヲモツテ藏府ノ虚實ヲ知ベシ。タトハ飽滿ノイ子タル夜夢ニ人ニ物ヲ與ヘ飢テイ子タル夜ノ入ノ物ヲトルト夢見ルナリ。是ヲ證據也

百病氣ニアリ血ニアルノ分別。醫學發明ニ云。夫百病ハ其甚シクヨルハシツカナルハ是陽ノ有餘ナリ。即氣病テ血。ヤマガルナリ

百病ヲ見ル甚クヒル静ナルハ是陰ノ有餘ナリ。即血病テ氣。ヤマガルナリ

百病畫ハ静ナルハ是陰ノ有餘也。即血病テ氣。ヤマガルナリ

百病畫ハ發熱シ夜醒ルハ是陽氣自ラ。陽分ニ旺スル病也

百病夜ハソゾ昇タシテヒルコノコキハ。是陰血ニツカラ。陰分ニ旺スルノ病ナリ
百病晝ハサヌ。シツカニシテ夜中ニ發熱煩躁スル。是ハ陽氣ヲダツテ陰中ニツキ
イル。各ツケテ熱入血室トイフ

百病ヨルコノロヨクシテヒルハ甚ダソゾ昇キハ。是陰氣ホリ溢テ陽ヲオカスナリ
百病ヨルヒルトモニ發熱煩躁スル。是重陽ニシテ陰氣ナシスニヤカニ其陽ヲ瀦
シ急ニ其陰ヲ補ヘ

百病晝夜トモニソゾ昇キハ。是重陰ニシテ陽ナシスニヤカニ其陰ヲ瀦シ急ニ其
陽ヲオキクベシ 右諸病ヲ治スルニ脈ヲワキテ。病ヲマキラス。ナラ其上一
此血氣陰陽ノ分別ヲ。詩ニ世ハ治セスト云コトナカレシ

潮作ノ時ニテ五藏ノ病ヲ知ベシ
藏氣法時論ニ云。肝病ハ平且シツカニ申ノ刻ハ甚ク。夜半ニシツカナリ
心病ハ日中ニシツカニ申ノ刻ハ甚ク。夜半ニシツカナリ
脾病ハ戌ノ刻ニシツカニ申ノ刻ニシツカ也
肺病ハ申酉ノ刻ニシツカニ申ノ刻ニシツカ也
腎病ハ夜半ニ快ヨク申ノ刻ニ静也

右是ニ推克相生ノトワリナリ 又云肝病ハ丙丁ニイユ。丙丁ニイサレバ。
庚辛ニツヨシ。庚辛ニ死セザレバ。壬癸ヲタモツテ。甲乙ニツクベシ
心病ハ戊己ニイユ。戊己ニイサレバ。壬癸ニツヨシ。壬癸ニ死セザレバ。甲乙ヲタモツテ。
丙丁ニツクベシ
脾病ハ庚辛ニイユ。庚辛ニイサレバ。甲
乙ニツクベシ。甲乙ニ死セザレバ。丙丁ヲタモツテ。戊己ニツクベシ
肺病ハ壬癸ニイユ。壬癸ニイサレバ。丙丁ニツヨシ。丙丁ニ死セザレバ。戊己ヲタモツテ。庚
辛ニツクベシ
腎病ハ甲乙ニイユ。甲乙ニイサレバ。戊己
ニツクベシ。戊己ニ死セザレバ。庚辛ヲタモツテ。壬癸ニツクベシ

又云肝病ハ夏ニイユ。子ノ火母ノ賊邪ノ金ヲ制スル故也
夏愈ガレバ秋ニ甚ク。子ノ火休メ賊邪ノ金秋ハ旺スル故也
秋死セザレバ。冬ヲタモツ賊邪ノ金休メ母ノ水旺スル故也。春ニナリテ。肝木
自ラ其位ヲ得ガ故ニツクベシ。右此肝病ニテ餘藏ノ病ヲナツラテ知ベシ

諸病之惡候
凡病者足ノヨウ。足ノ裏ハ身重ク。大便タモタズ。眼ヒトミヲ轉セズ。身ノウ
凡臭ハ皆死スベシ。カノヲツクス。目鼻耳口黒ク。面白クワトツキ。又一向ニ物

凡病者足ノヨウ。足ノ裏ハ身重ク。大便タモタズ。眼ヒトミヲ轉セズ。身ノウ
凡臭ハ皆死スベシ。カノヲツクス。目鼻耳口黒ク。面白クワトツキ。又一向ニ物

イワズ。口ニミシハ皆危シ。又病ニ兩ノ頰赤キハ内。口ヲアキ。ハツテ息
ス。足膝ハレシ。身體ハ小便秘澁ス。面テハ赤ク。眼ハ白シ。
面テ青ク目黄ニ。マナニヒカリナク。面テ先青ク。後ニ黒ク。
ハキクログ。鼻ノ下ノ人中アトナク。唇アツク。身ヒヘヒリイガリシ。
衣ヲテ床ヲ升ル食物ヲミテウロムク。髪スクミヤノゴトク。ウチビノス
ヂノビ。手ノ内ニシワナク。手足ノ爪青ク黒ク。セボ子ヒイフキ。腰イタミ
面テ黒ク白シ。唇コガレハレテ。青ク白シ。
右此病證多ク必ス死ベシ。醫者病家ニ函スルノ法

醫工與患者之事上

凡醫者未タ病家テイタラズ。先ロラスギ手ヲ洗ヒ。天ニアライデ。祝スレ。門ノ
中ヲトリ。立カラス坐スル時カニヨリカニス。卧トキ帶ヲトクベカラス。衣裳
ヲロノ上ニミラオウカラス。婦事ノ念ヲオニスベカラス。貪欲心ヲ生スベカラス
ソ子ム心ニム心ヲ生スベカラス。飲食アラバ必ス我がイキニテ吹テ其後用ヘシ
古語ニ云。賢人不入於刑官。家藥不療於不仁病トアリ。然ハ刑裁ヲ專
ニ慈悲ノキ者ハ天道ヨリ大病ヲツカラキタル。故ニ醫者モ出ス

ベカラス。藥モ又因果ヲモツテ生ス。病ズ治シ得サレナリ

四知之論

神聖工巧。望聞問切。是ヲ醫經ニ四知トイフ

夫肝心脾肺腎ノ五藏。ウチニヤム時ハ。即青黃赤白黒ノ五色。面ニアラ
ワル。面ノ色ノ青ハ腹中ノ痛ニナリ。面色紅ナルハ腹中ノ熱也。面ノ色黃
ナルハ脾ノ藏ノ氣ヨクナリ。面色白。腹中ノ寒也。面色黒ハ腎氣ノヤフ
ルナリ。神氣ノ不足ナルハ。酒ヲムズ。醉ルカゴトク。心ニ火燃ハス。ウレウルカ如
シ。手ノ節アレ。指ノ間。スキタル者ハ。病ヲ得テ遲ク愈ル也
凡カクコトクニル所シモツテ。内腹ノ病ヲ知シ。手トイ。神トイフ

夫五藏ウチニアラツテ。五聲ヲ生ス。歌哭呼笑呻。是ナリ。五音ハ。五聲ヨリイツ。
宮商角徵羽。是ナリ。然レ病者ノユエヲ。モツテ。其腹中ノ病ヲ。時言ハ。哭
スルハ。肺ノ病トシ。スハ。ナナリ。鼻ヒ者ハ。肺ニ風アルトシ。ワラツテ。ヨメレ多ハ
脾ノ病トシ。怒リヨ。ワツテ。涙ノ多ハ。肝ノ病ナリ。多ク。唾ヲ吐キ。ニヨフハ。腎ノ虛
損ナリ。汗出テ。タワトツ多ハ。心ノ病ナリ。聲ノカクキ。氣ノヨクナリ。聲ノ
モク濁ルハ。風氣ノ痛ニナリ。二。百。二。聲ノ多ク。又。肺ノ病也。聲ノ急ナルハ。神

ノ衰ル也聲ノ塞ルハ痰ノ積ナリ聲ノフルハヒエ也聲ノムセフハ氣ノ不
順也アエクハ氣ノイソカハキナリヤクヒ多ハ其人倦ルナリ
右カクゴトク病者ノ聲ヲ以テ藏府ノ病ヲ知ル故ニ是ヲ聞トイヘ聖トイ
フナリ

夫五味ハ口ニイリ胃ニシヤルトイヘ是ヲ口カシユナノ脾ニシヤルハ脾則是
ノ五藏六府ニ散スル也五藏モ亦ソノ味ニヨツテ是ヲウケルナリ肝ハスキシヨム
心ハニガキシヨム脾ハアキシヨム肺ハ辛シヨム腎ハ鹹シ好カ
右如此病者ノキライヨム味ヲトイワキマヘテ五藏ノ病ノ發リ所ヲ知ヘシ文
病者常ニヨシテ何物ヲ食シイツレノ事ヲナシイツレノ日病ヲウケイカヤ
ウニヤミハシメタルトクワレトイ尋テ病ノミナモトヲ知シ問トイヘトイフ
以上三術ヲツクシ其後脾ヲウカイ虚實ヲワキマエ二十四道ヲ分別シ陰
陽寒熱ヲアキラメ生死吉凶ヲサダムルヲ診候ノ術トイフ也
右脉ヲウカカウコトハ神氣ヲシツメ呼吸ヲ定メ酒ニヨワシテ取キナリ脉
ヲタシカニシテ藏府ノ病ヲワキマエ生死ヲシルガ故ニ是ヲ切トイヒ切ト
イフナリ

五藏ノ絶證

肝絶ノヲモテハレ青ク黒ク舌ガリアラク手足ノカ弱ク目ケテ淚多シ
心絶シテハ面ツクシ黒ク肩息ヲ目見リ手ノ内ノシラ失タワモツキ身熱シ
テモダユ

脾絶シテハ臍ハレ足ノ甲ハ面黄ニハレ大便ノクタルヲシラズ胃滯リ唇ハル
肺絶シテハ口鼻ヨリイキイデテ必ス唇ソリシワナク皮モコレカナルナリ
腎絶シテハ面黒ク齒イタミ耳シ汗出ル事水ノゴトク腰ヲモシ肉
ワワラカニ髪カルナリ

五實五虚ノ論

實腹ヲクシガタキハ脾ノ實ニ便通セサルハ腎ノ實目クタルモ多シハ肝ノ實
右五藏ノ實ニキワミルナリモシ薬ニテ二便漸ク通シ腹ヤワラカナルハ生ルコト
モアリ
脉ノホソキハ心ノ虚皮ノヒユルハ肺ノ虚鼻口ノイキクサキハ肝ノ虚ニ便タモ
タズクタルハ腎ノ虚飲食ニ向ニシヤミラザルハ脾ノ虚ナリ
右五藏ノ虚ニキワミルナリモシ薬ニテ少シ食事モヲサマリニ便モヤワラ
トマラバ生ベシ

諸病ヲ治スルニ專胃ノ氣ヲ

コ、ロムベキノ説

夫藥三病ヲ治スルニ其藥々々ニチ
スガニ其病ノ所ニユコトナレ。先胃ニテ變化ノ漸之病ノ所ニユコト。譬言ハバ
病ヲミワケ。脉ヲトリアテ。必効ノ藥ヲノメスルニ効ナキハ胃氣虛メ。藥
カヲ運化セズ。イタツラニ二便トナリクタルナリ。其時ハ。本病ノ藥ヲオ
キ。胃ノ氣ヲ調テ。本病ハ減セスト云トモ少食事ノ心アラス。サテハ胃ニチカラ
イテキタルト心得テ本病ノ藥ヲ用ベシ。ソレモ胃ヲ助ル藥ヲ少ツツ加ベシ

兩腎ニ補ノ分別

左腎ハ水ニ屬シ。右腎ハ火ニ屬ス。故ニ虚スレバ水スチチナリテ。身ノウチ乾キ
命門虚シテ。下焦ノ陽氣衰ヘテ小便タモチカタル。精氣モレ安シ。然ハ
世ニ房事ヲツシニ。食味ヲウスタト。タチム物ハ誠ニミレナリ。故ニ精血。虚
損シ相火タカブリ。旺シ虚煩癆瘵嗽血等ノ病ヲ發ル。故ニ丹溪ハ補陰ノ
説ヲ明シテ。左腎ノ水ヲ補フ。古方ノ補藥多古腎ノ相火ヲオキク。但シ
世人ノ病火旺スルモノ十人ニ九人アリ。火衰ルノ病八百人ニ二人モナシ
倉公三死ノ説
病ニ藥ヲ服スル事ヲウケル公ツツ死ナリ
巫ヲ信シ醫ヲ信セザル公ニ死ナリ

身シカロシ命シ薄シツシサルハ。ニノ死ナリ

右如此輩ハ。シイテ藥ヲ與ヘ療治シナスト。雖ハ効ヲ得難シ

五勞之大體

久ク物ヲミレ。血ヲ破リ。心ヲ勞ス。及シテ骨ヲヤブリ。肺ヲ勞ス。及シテ座ス
レ。肉ヲヤブリ。脾ヲ勞ス。及シテ骨ヲヤブリ。腎ヲ勞ス。及シテ行ハ。筋シヤ
ブリ。肝ヲ勞ス。行義ニ云。心ハ大ニ用カラス。大ニ用ユレバ。即竭形ハ大ニ勞スヘカラ
ス。大ニ勞スレ。即斃ス。又云。心シ以テ。極リナキノ事ニ對セ。亦勞セサランヤ
未病ヲ治スルノ説
言語ツツレシ。飲食ヲ節シ。風寒シフ
世キ。形ヲ勞セズ。心ヲツツサス。房事シトツラス
右是。未病ヲ治スルノ大道ナリ。丹溪カ云。ソレ病アツテ。後治療セヨリハ
シカレ病トキノサキヲ攝養セシハト。又肝ノ病シミテ。脾ニツタエニトシ。知テア
ラカレヌ。脾シスヤカニス。具モ味病ヲ治スルノ一途ナリ

六失ノ論

醫ヲ信セサルニ失レ。療治ノ遲ニ失レ。醫
ヲエラハサルニ失ス。已上三病者ノトカナリ
病ヲ知サルニ失レ。藥ヲシラハサルニ失ス。詩カナラサルニ失ス

已上三六醫者ノトガナリ

養生ノ論

右六失ノ内一モ是アラス病イエカ多シ

行義ニ云。養生ノ道多シト雖ドモ約

ノ是ヲイフニ其術ニアリニ三神ヲ養フ。二六氣ヲオシムニ三疾ヲフセク

神ヲ養フトハ。智慧ヲサリ貪欲ヲ。ハツシ七情ヲ。ワスレ。諸事ヲステテ。恬澹

虚無ニシ。眞ヲミツタフスルヲイフ也。氣ヲ惜ムトハ元氣ヲタモチ。精ヲモラサ

ズ。眼耳鼻舌身意ヲ悉クワスレ。識界ヲムナシラスルヲ云フナリ

疾ヲ防グトハ。飲食ヲ節シ。温涼ニ方ナヒ。四立ニ至ニ分ハ。節ニ。虚邪賊風ヲ

シニシイテ。イ子ニイテ。サムヘカラス。右谷々イカニモ。タヌク行イヤステレ

トモ。世ニ行フ者。マレニヌ。オチイカサト思ヘリ。秘康カ云。豊歳ニ病多ク

飢年ニ疾少ト。誠ナルカナイツリナラズ。關中土地ノ俗ハヨロツ多キニ依

テ。食味ウスク。其人病多ク。命長シ。江南嶺表ハ諸事ユタカニ充満

山海ノ珍物。ソナワラスト。云フ事ナシ。故ニ其人病多ク。又死テ。遊官ノカレ

コニイタル者モ其豊ナルニ逢テ。ロラ。恣ニ疾ヲ生ズ

右是ニ習テ。イツクニテモ慎ムベシ。故ニ古語ニ云。病ハ口ヨリ入ト。道林カ云。食スル

時カタルベカラス。語レバ。胃背ヲ痛。又云フニテ。多ク言ヒ。笑フヘカラス。タトハ

五藏ハ鍾ノゴトシ。懸ラザル時ハ。殺母ヲ發スヘカラス

又云。朝トクヲキテハ。專ヨキ事ヲイフベシ。晨ニ空服ニメ。錢ヲカスユヘカラス

又云。食事ハ少ツ。サイク用ベシ。カニ多ク用レバ。消シガタシ

又云。食スル毎ニ。諸

百病ヲ生ズ

又云。食レ畢ラズ。手

又云。暮ニ即ス時。常

渴ヲ煩フ。又血色

又云。凡子ムス。先心

ヲセヨ

又云。咳唾スヘカラス

又云。ウエタル時ハ。カレ

ナリ

又云。冬至ノ日ハ。人ノ

Handwritten notes in cursive script, likely a commentary or additional text related to the medical or philosophical content on the adjacent page.

已上三六醫者ノトガナリ

右六失ノ内一モ是アラス病イエカタル

養生ノ論

行義ニ云。養生ノ道多クト雖ドモ約

ノ是ヲイフニ其術ニアリニ神ヲ養フニ六氣ヲオシムニ三疾ヲフセク

神ヲ養フトハ。智慧ヲサリ貪欲ヲハツシ七情ヲワスレ諸事ヲステ。枯澹

虚無ニシテ眞ヲミツタラスルヲイフ也 氣ヲ惜ムトハ元氣ヲタモチ精ヲモラサ

不眼耳鼻舌身意ヲ悉クシテ識界ヲムナシラスルヲ云フナリ

疾ヲ防グトハ。飲食ヲ節シ温涼ニカナヒ四立ニ至二分ノ八節ニ。虚邪賊風ヲツ

レニシテイテイ子イテサムヘカラス 右谷々イカニモ。多ク行イヤステレ

トモ並ニ行フ者。マレニヌ。オチイカヤト思ヘリ。秘康カ云。豊歳ニ病多ク

飢年ニ疾少ト。誠ナルカナイツリナラズ。關中土地ノ俗ハヨロツ多キニ依

テ。食味ウスクシ。其人病多ク命長シ江南嶺表ハ諸事ユタカニ充満シ

山海ノ珍物。ソナワラスト。云フ事ナレ故ニ其人病多ク又。大死ヲする遊官ノカレ

コニイタル者モ其豊ナルニ逢テ。ロラ恣ニ疾ヲ生ズ

右是ニ習テイツクニテモ慎ムヘシ故ニ古語ニ云。病ハロヨリ入ト道林カ云。食スル

時カタルヘカラス。語レバ習昔ノ痛 又云フニテ。多ク言ヒ大フヘカラス。タトヘ

五藏ハ鍾ノゴト也。懸ラザル時ハ聲ヲ發スヘカラス

又云。朝トクヲキテハ。專ヨキ事ヲイフベシ。晨ニ空服ニシ錢ヲカズユヘカラス

又云。食事ハ少ツクサイク用ベシ。カニ多ク用レバ消レガタシ

又云。食スル毎ニ。諸肉ヲ重テ用ガラス。能飯ヲ食シテヤ菜ヲ少用ベシ。カガレ

百病ヲ生ズ 又云。飽滿シテ即卧ハ消セス。積聚トナル

又云。食レ畢ラズ。手ニテ面ト腹ヲサスレ。津液流通ス

又云。暮ニ卧ス時。常ニ習テ。ロヲ閉ベシ。ロヲ開ケバ。氣ヲ失シ邪惡イル。久ク消

渴ヲ煩フ。又血色ヲ失ス 又云。膝ヲカマテ。ソハサマニ卧ハ人ノ氣カラニス

又云。凡子ムズ。先心ヲサシメテ。其後服ヲサシメヨ。一夜中ニ五度トコガヘリ

ヲセヨ

又云。咳唾スヘカラス。亦ツキキヲトクハクヘカラス。手足ヲモク背イタム

又云。ウエタル時ハカレヨツテ。小便レ飽滿ノ時ハ立テ小便スベシ。是ヲ慎ム無病

ナリ 又云。飽滿ス。髮アラフヘカラス。飢テハ湯ヲアブルナカレ

又云。冬至ノ日ハ。人ノ來リ。同ニ有ハ者ヘヨ。自ラ物イフヘカラス

又云ツ子ニ心ニ不足ナリト用ニハカラスモレ不足ナル心ヲユルトモ自是ヲ

オサヘヨ人トシタル事ヲレバ天道ヨリ其禄ヲオクルナリ

庚桑楚カ云。聖人ノ聲色滋味ニヲケル下性ニ利アル時コレヲ取リ性ニ害アル

時ハコレヲスツコレ全性ノ道ナリ 玉機微義ニ云六月ハ未ニ屬ス土火ニ旺

ス土旺ス時ハ水衰フ又腎水ノ母ハ肺金ナリ腎水ノ不足ス肺金コレヲ補

助ス故ニ古人ハ五六月ハ獨宿淡味ス金水ノ二藏ハ火土ノ旺ヲキラフ

又云十月ハ亥ニ屬シ十一月ハ子ニ屬ス陽氣トチカクシテ眞元ヲ養フ來春

發生スベキモトヲナス此ノトキ房事ヲツシニ元精ヲソコナサズ根本サカレ

ニシテ氣カルガレシク浮ハイツシテ温熱ノ病アラシ

養生ノ書ニ云暮ニ飽食スルコトナカレ又云湯ヲアヒ髪ヲアラウテ風ニアタル

ベカラス 又云トモレ火ヲカケテ婦事ヲオカスベカラス

又云フシヲウツテトモレ火ヲトムベカラス

類證辨異全九集卷之二終

28
3799

